

TOTO

自閉式横水栓

TMF19Y型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。


1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)




取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。



●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

 禁止	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
---------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------

 警告	
 禁止	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しない(湯を使用する場合)</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
 分解禁止	<p>この説明書に記載された項目以外は分解しない</p> <p>破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>

 注意	
 禁止	<p>強い力や衝撃を与えない</p> <p>破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>凍結が予想される場所で使用しない</p> <p>部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>

2. 仕様

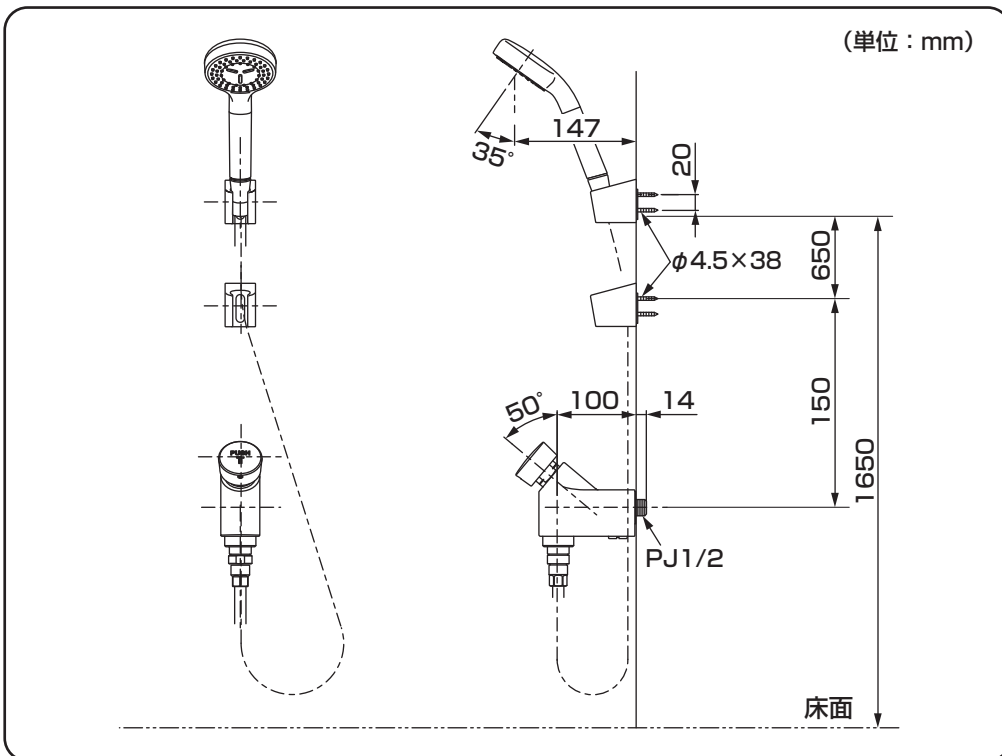
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.07MPa (流動時)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用最高温度	85℃以下	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水 ※温泉水は使用できません。	
使用環境温度	1～40℃	
用途	パブリックおよび一般住宅浴室用	

3. 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4. 完成図

※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。



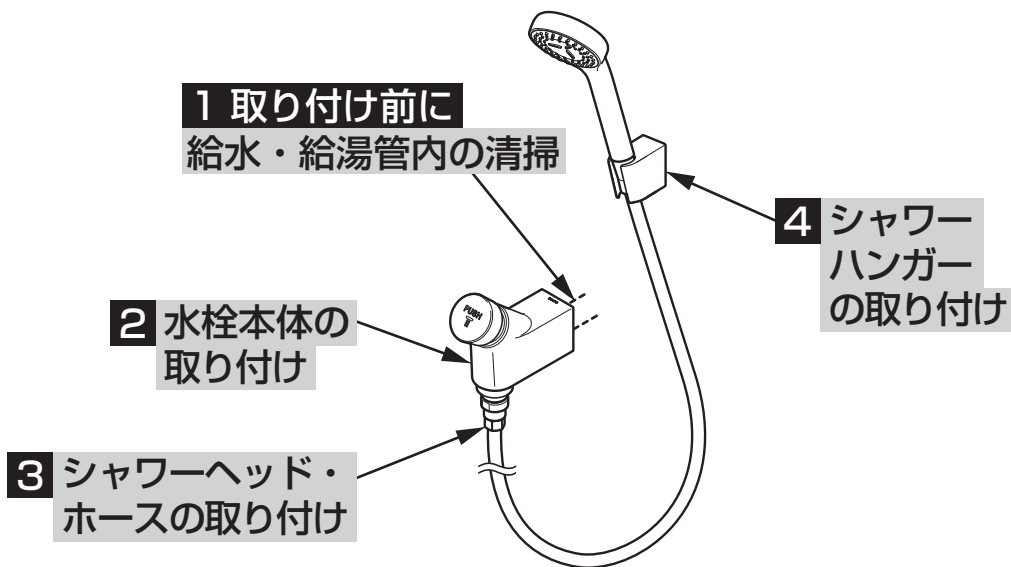
5. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	その他
	<p>施工説明書</p> <p>必ずお客様にお渡しください</p> <p>(本体用)</p> <p>(ハンドシャワー用)</p> <p>取扱説明書</p> <p>使いかたラベル</p> <p>開閉工具</p>
シャワー部	
	<p>止めねじ (4本)</p> <p>化粧キャップ (2個)</p> <p>パッキン (2個)</p> <p>シャワーハンガー (2個)</p>

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

6. 施工手順



1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

商品を取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

注意

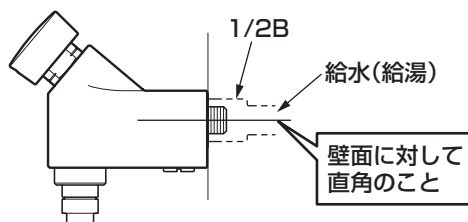
給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。

①吐水量が少ない ②温度調節がうまくできない
給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

バケツなど水受けとなるものを準備し、壁や床に水が飛び散らないよう止水栓をゆっくり開き、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流す。

2 水栓本体の取り付け

水栓本体を図のように取り付ける。

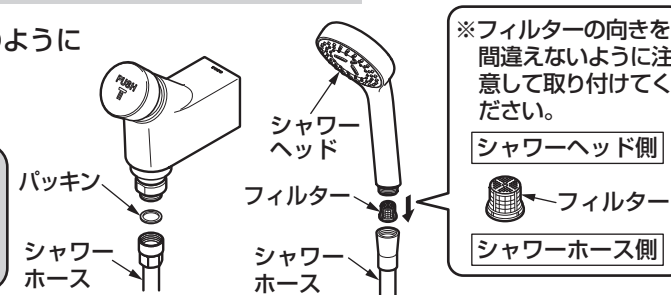


3 シャワーヘッド・ホースの取り付け

シャワーホースを図のように取り付ける。

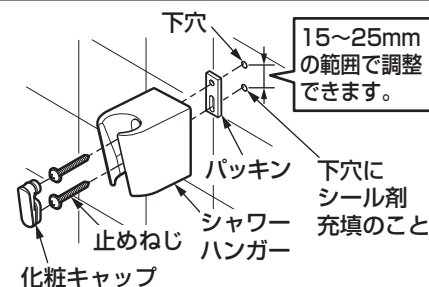
注意

パッキンが入っていることを確認してください。



4 シャワーハンガーの取り付け

- ①下穴を開ける。
※取付位置は **4. 完成図** を参照
- ②パッキンをシャワーハンガーの裏面に貼る。
- ③止めねじでシャワーハンガーを固定する。
- ④化粧キャップをねじ穴に確実に押し込む。

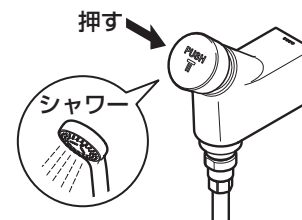


7-1. 施工後の調節

1. 水出し確認

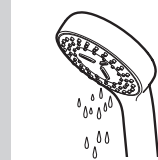
取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、シャワーから水が出るか確認してください。

取り付け直後は吐水量は多めに、吐水時間は長めになりますが、数回の水出し操作で正常になります。



注意

シャワーが止まったあと、シャワーヘッドからしばらく水が排出されます。これはシャワーヘッド内部の残留水を排出させているためです。故障ではありません。

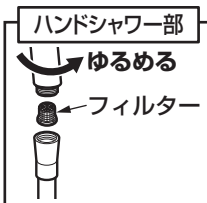


7-2.

2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。



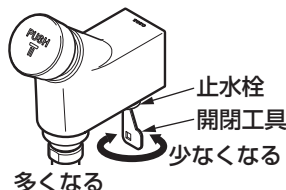
※流量や1回分の吐水量の調節は、以下の手順に従い正しく行ってください。手順を誤ると、正しく設定できないことがあります。

3. 流量の調節

商品の機能が十分発揮されるように、水圧の高い場合は次の要領で流量を調節してください。

止水栓の流量調節ねじを回す。

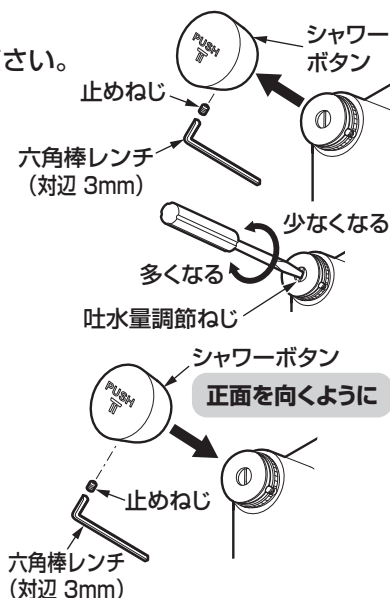
時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。調節の目安は下記の通りです。25秒程度で洗面器（容量約3L）がいっぱいになるように調節してください。



4. 1回分の吐水量の調節

1回のボタン操作での吐水量調節を行ってください。

- 1 止めねじをゆるめてシャワーボタンを引き抜き、取り外す。
- 2 ドライバーを差し込み、吐水量調節ねじを回す。
時計回りに回すと吐水量が多くなり、反時計回りに回すと少なくなります。
1回転で約5秒の調節ができます。
- 3 ボタンを一度押して吐水量を確認する。
- 4 お好みの量に調節し、取り外しと逆の手順で取り付ける。



※シャワーボタンをマークが正面を向くようにはめ込んでください。

※止めねじはゆるまないよう十分に締め付けてください。

8. 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

② フィルター



① 水栓本体

③ 止水栓

ガタツキの確認

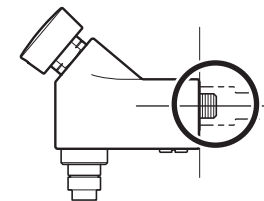
ガタツキがないか確認してください。

- ① 水栓本体のガタツキはないですか？

➡ **6-2** 水栓本体の取り付け 参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。



水漏れがある場合は、配管に腐食・ひび割れなどがないことを確認のうえ、再度取り付け直してください。

流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

- ② フィルターのごみ詰まりはないですか？

➡ **7-2** 2. フィルターの掃除 参照

- ③ 止水栓は開いていますか？

➡ **7-2** 3. 流量の調節 参照



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。